



### 6月の安全就業重点事項

### ◆事故の発生状況◆ 令和元年度

## 転倒事故は、 みんなで防止

	令和元年 5月発生分	年度 累計	前年同月 発生分
傷害事故	0	0	1
賠償責任事故	1	1	3
計	1	1	4

シルバー会員の傷害事故で最も多いのが「転倒」です(約30%)。転倒により骨折されますと、治りにくく、就業再開できない状態が長く続くケースが多いようです。程度によっては、長期の治療で寝たきりとなり、就業をあきらめざるを得ないこともあります。転倒を予防することが、いつまでも生き生きと就業やサークル・ボランティア活動等を続けていただく基本となります。

### 転倒事故の種類と主な原因

#### 滑る



#### [主な原因]

- ・床が滑りやすい素材である。
- ・床や地面に水・油や粉末が飛散している。
- ・ビニール、紙、枯葉など、滑りやすい異物が落ちている。

#### つまづく



#### [主な原因]

- ・床や地面の凸凹や段差。
- ・床に放置された荷物・商品、地面の石、ホースなど。
- ・敷物がめくれている。

#### 踏み外す



#### [主な原因]

- ・大きい荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での作業。
- ・前足を踏み出す際に、予想していたよりも地面が低かった。
- ・暗い場所での移動。

### 転倒事故防止対策のポイント



#### POINT 転倒しにくい作業方法

～あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて～

- 時間に余裕を持って行動
- 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- 足元が見えにくい状態で作業しない  
↳ 荷物を小分けで/複数人で運搬/台車の使用 等
- 足元に十分な明るさを確保する



#### POINT 設備管理面の対策

～4S(整理・整頓・清掃・清潔)～

- 歩行の障害となる物を放置しない
- 安全な歩行ルートを事前に確保する
- 床面の汚れ(水・油・粉等)を取り除く
- 床面、地面の凸凹、段差等の解消



#### POINT その他の対策

- 作業に適した靴の着用
- 転びにくい体づくり(身体機能の維持・向上)
- 転んでも受け身ができるよう、片手は空けておく
- ヒヤリ・ハット報告による危険情報の共有
- 転倒危険箇所を目印をして注意喚起+指差呼称

裏面もご覧ください

## 【交通安全】雨の日は危険予測を強く意識しよう

### ■思わぬ行動をする歩行者・自転車

雨が降ると、視界が悪化して滑りやすくなりますが、これは車だけでなく、歩行者や自転車も同じです。歩行者が滑って車道側に転んだり、自転車がよるけるといった危険があります。

原付きバイクも白線の上などでスリップしやすく、雨の日に大型車に接触して後部車輪に巻き込まれるといった事故が起きています。

ですから、雨天時は平常時以上に**危険予測**が重要となってきます。「傘をさしたあの自転車は電柱に接触する**かもしれない**」という意識を強くもてば、距離をとるようになり、事故を未然に防ぐことができます。



### ■チェックリストで自己点検をしましょう

雨の日の心構えは万全ですか？以下のリストに**ハイ・イイエ**で答えてみましょう。

- ①雨の日は意識して速度を落としている  
→ **ハイ・イイエ**
- ②雨の日は前方を走る二輪車の転倒を予測する  
→ **ハイ・イイエ**
- ③遠方が見えない豪雨に遭遇したら、安全な場所に停車してやり過ごす → **ハイ・イイエ**
- ④傘をさして走行している自転車に注意を払う  
→ **ハイ・イイエ**
- ⑤歩行者が多い場所では、濡れるのを嫌った歩行者の飛出しを警戒する → **ハイ・イイエ**
- ⑥降り始めが滑りやすいので、慎重に操作する  
→ **ハイ・イイエ**

## 【健康管理】熱中症の危険を意識しましょう

### ■6月でも5千人が救急搬送！

6月は全国的に気温が上昇し、熱中症で倒れたり病院に搬送される人が増えてきます。

記録的猛暑となった昨年(2018)は、6月に全国で熱中症による救急搬送人数が5,269人あり、前年6月の救急搬送人数より1,788人も増加しました(消防庁調べ)。

今年は、ほぼ平年なみの予報で昨年ほど災害級の暑さとなる気配はありませんが、6月はまだ暑さに慣れていない時期ですので、注意が必要です。

なお、**温度が30℃以下でも湿度が高いと熱中症の危険があります**ので気をつけてください。

### 【熱中症予防のポイント】

- 湿度、温度等をこまめにチェック
- のどが渇かなくても、こまめに水分補給
- 汗を多くかいたら、塩飴などで塩分補給
- 汗を発散しやすい衣類を着用
- 無理をせず、適度に日陰で休憩をとる
- 日頃から栄養バランスの良い食事
- 十分な睡眠で疲労をためない
- 体調不良時・二日酔いの時は作業をしない

仲間の様子がおかしい時は、**ためらずに医療機関へ！**



### ◆「安全標語」のご応募ありがとうございました

今年度も安全標語を募集しましたところ、70点ものご応募がありました。6月25日の当センター安全委員会および県連合会の安全就業推進委員会(7月)にてそれぞれ優秀作品が選ばれます。

### 【自動車運転時のバック事故発生】

5月28日 11:55頃〔雨〕 64歳・男性  
倉庫の扉前にバック駐車しようとしたところ、そのまま車両後部を扉に衝突させた。車両にはバックモニターがついていたが、会員はモニターもミラーも見えていなかった。